

呼吸器患者みまもり支援システム

(株)三五、(株)スカイネット、(株)アイビジョン、(株)ファーレックス

死亡者が年間3名、ヒヤリハットも増加傾向

- 人工呼吸器に関わる死亡者が年間3名で推移。ヒヤリハット事例も増加傾向で原因は呼吸器回路、加温加湿器で約40%を占める。
- 異常時、数値が表示されるのみで【どこで発生しているのか】【何が原因なのか】が判らない場合が多い。
- 今後は在宅で人工呼吸器を使用する機会が増えるに伴い、医療従事者以外が容易に扱えるシンプルなシステムが求められる。

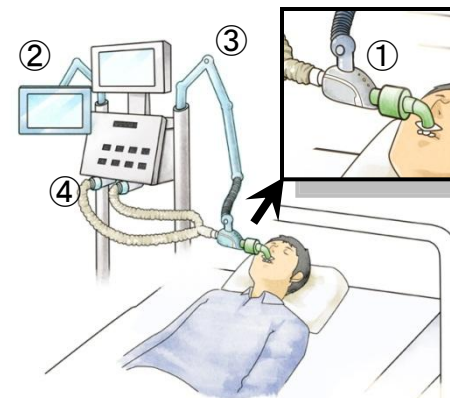
交通事故死亡者ゼロと同じく、医療事故ゼロを目指して

- 回路異常の【見える化】を行うことで、異常箇所、原因を判りやすく提示し重症化を防ぐ。
- 口元に流量/圧力/炭酸ガスを測定する【呼吸マルチセンサ】を設置することで呼吸器回路を見守る。
- ヒヤリハット原因である加温加湿器を省いたシステムにより、潜在的リスク要因を低減した【シンプルなシステム】を提供する。

三五:自動車を超えた新事業への挑戦

1928年の創業以来、国内外の自動車メーカーに部品供給してきた実績と培ってきたプレス・金属塑性加工技術を基軸として初参入。医療機器メーカー、大学等と共同開発を促進し新規参入を計画中(愛知県みよし市、資本金 6.08億円、従業員数 2363人)

安全管理支援システム



【システム構成】

- ①呼吸マルチセンサ ②支援モニター
③支持アーム ④誤接続防止回路

(従来)

人工呼吸器システムは数値表示のみ

(支援システム採用時)

『本システムを適用すると、異常箇所と原因を提示することができる』

モニター画面

